

令和5年度 第3回 福井・坂井地域医療構想調整会議 坂井分科会	資料3
令和6年3月11日（月）19時～	

公立病院経営強化プランの策定について

地域医療構想の進め方（令和4年3月24日付け厚生労働省通知）のポイント

- ・ 令和4年度および5年度において、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを行う。
- ・ 公立病院（病院事業を設置する地方公共団体）は、「公立病院経営強化プラン」を対応方針として策定した上で、地域医療構想調整会議において協議する。

No.	病院名	設置者	地域医療構想の区域	策定状況
1	福井県立病院	福井県	福井・坂井	策定済み
2	坂井市立三国病院	坂井市	福井・坂井	令和5年度中に策定
3	公立丹南病院	公立丹南病院組合	丹南	令和5年度中に策定
4	越前町国民健康保険織田病院	越前町	丹南	令和5年度中に策定
5	杉田玄白記念公立小浜病院	公立小浜病院組合	嶺南	令和5年度中に策定
6	市立敦賀病院	敦賀市	嶺南	令和5年度中に策定
7	レイクヒルズ美方病院	公立小浜病院組合	嶺南	令和5年度中に策定
8	福井県立すこやかシルバー病院	福井県	—	令和5年度中に策定

※ 地域医療構想の対象外である精神医療についても、精神疾患の患者増加等を踏まえ、公立病院経営強化プランの策定が必要

坂井市立三国病院 経営強化プラン（案） ①

○基本情報（R5年4月現在）

病院名	坂井市立三国病院
開設者	坂井市
経営形態	直営
運営者	坂井市
地域医療構想区域	福井・坂井
基幹病院の該当性	非該当

○役割・機能、病床等の状況（R5年4月現在）

許可病床数	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	105	0	0	0	0	105
標榜診療科目	12	内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科 小児科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科 放射線科、リハビリテーション科				
特殊診療機能	人間ドック、人工透析、運動機能訓練室					
指定病院の状況	救急告示病院					
入院基本料	急性期一般入院料4（看護師配置 10対1） 62床 地域包括ケア入院管理料2（看護師配置 13対1） 43床					
病床利用率	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	61.2%	74.3%	79.4%	77.3%	69.1%	

○施設概要（R5年4月現在）

所在地	坂井市三国町中央1-2-34
敷地	7,649.30㎡
建物概要	延床面積8,215.73㎡ RC造 地上4階
主な施設の建築年数	17年

○職員の配置状況（R5年4月現在）

区分	医師	看護師	准看護師	医療技術職	事務職員	その他職員	計
常勤	12人	62人	4人	29人	12人	1人	120人
非常勤	3人	18人	1人	0人	5人	20人	47人

○経営の状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収支比率	91.6%	97.3%	107.1%	108.2%	116.8%
修正医業収支比率	74.9%	81.5%	81.0%	83.2%	81.4%

○現状において提供している医療等の内容

- ・ 救急、周産期、小児科（政策医療）
- ・ 急性期医療
- ・ 外来医療
- ・ 健診事業、人間ドック
- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 産後ケア
- ・ 病児病後児保育
- ・ 回復期医療
- ・ 透析医療
- ・ 予防接種
- ・ 通所リハビリテーション
- ・ 不妊治療

○現状における主な連携先（紹介・逆紹介先）

【病院】

- ・ 福井大学医学部附属病院と福井県立病院が約7割を占める。

【診療所】

- ・ 三国地区・あわら市の診療所が過半数を占める。

【施設】

- ・ 三国地区の施設が約7割を占める。

プランの基本的事項

※国ガイドラインP4

策定趣旨	坂井市立三国病院の経営の安定化とともに、将来的に持続可能な公立病院として存続し、地域医療構想の実現に資するため計画を定める。
位置付け	「公立病院経営強化の推進について（総務省：令和4年3月29日）ならびに「地域医療構想の進め方について（厚労省：令和4年3月24日）により、地域医療構想の具体的対応方針として位置付ける。
計画期間	令和6年度～令和9年度（4年間）

プランの方向性

- 安定経営に向けた改善策の柱として、病床利用率と透析医療における収益向上を図るため、1人でも多くの患者を受け入れる病院となることを目指す。
- 周産期医療や救急医療、地域包括ケアシステムの構築等、公立病院として担うべき役割の充実を図る。

1 役割・機能の最適化と連携の強化 ※国ガイドラインP5～P8

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<p>【地域医療構想を踏まえた役割・機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に地域包括ケア病床を導入した。 公立病院として、地域医療構想に沿った役割・機能を果たすことが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に導入した地域包括ケア病床を活用し、回復期機能を主軸とした急性期機能とする 新 令和6年度に急性期病床を削減する（105床→97床） 新 新規入院数や病床利用率の動向により一般病床の削減や回復期病床の増床を検討する。
<p>【地域包括ケアシステムの構築に向けた役割・機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に通所リハビリテーションを開設 令和5年度に訪問看護ステーションを開設 リハビリ需要の増加に伴いスタッフ・施設とも不足 	<p>通所リハビリテーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡 医療保険の期限を過ぎた高齢者のADL維持を目的とした通所リハビリテーションの充実を図るため、急性期病床を削減（総病床数105床→97床）し、機能訓練室を拡張する。 <p>訪問看護ステーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡 訪問看護ステーションの充実（24時間体制・機能強化）を図る。 <p>訪問診療体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 在宅医療の推進に向けて計画期間中の訪問診療体制構築を目指す。
<p>【機能分化・連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携室を中心に連携強化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡 大学病院、県立病院など高度急性期病院および地域の病院・診療所・介護施設等関連機関と日常的に情報交換等の連携を強化し、相互の機能・役割を明確にした連携体制を構築することでスムーズな患者受入と退院支援を実施する。 ふくいメディカルネットの活用を促進し、関連医療機関との情報共有による円滑な連携を図る。

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<p>【一般会計負担の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会計から病院事業の繰出金は、総務省自治財政局長通知の繰出基準により、基準の範囲内で繰出を行っている。 資金不足に対応するため基準外繰入を行ってきているが、現在は資金不足は解消している。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正や経営状況等に変動があった場合は、繰出基準の範囲内で見直す
<p>【住民理解のための取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新改革プランについては広報・ホームページ等で周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営強化プランについて広報等により周知を図るとともに、計画期間中の進捗状況についても議会・住民に周知を図る。

2 医師・看護師の確保と働き方改革 ※国ガイドラインP8～P11

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<p>【医師・看護師の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師・助産師・看護助手の確保が困難となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置数は、医療法、診療報酬等における人員基準並びに他の自治体病院（類似）等との比較に基づき、経営と安全確保の両面を考慮して過不足にならないよう適正化を図る。 拡 研修生・実習生の受け入れ態勢を構築する。 診療報酬を財源とする看護師等の処遇改善を継続する。
<p>【若手医師の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤医師の高齢化が進展している。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡 病院管理部門が福井大学、県の医師対策部門と連携を密にし、内科・外科・産婦人科の医師派遣の働きかけを強化する。
<p>【働き方改革への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 断続的な宿直または日直勤務許可を取得済み。 時間外労働の上限を超える医師はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の「断続的な宿直または日直勤務許可」を継続する。

3 経営形態の見直し ※国ガイドラインP11～P13

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業法一部適用により運営している。 病院経営強化を進める中で、現在の経営形態では取組内容に制限がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営強化プランの計画期間中に経営黒字化する数値目標の達成が困難と判断した場合は、経営形態の見直しを検討する。

4 新興感染症に備えた平時からの取組み **新** ※国ガイドラインP13

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に病児病後児施設をコロナ病床に転用し、令和4年度には病棟内にコロナ病床を設置し、院内クラスターを発生させることなく運用できた。 今後の新たな新興感染症の流行に備え、対応できる人材の育成および設備等の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度より実施してきた新型コロナウイルス感染症患者の入院受入や発熱外来の開設の経験を生かし、緊急時には迅速に感染者用病床を設置する。 地域のクリニック等からの患者受入れ、重症患者の高次病院への転送等について、他の医療機関との連携体制を構築する。 感染症専門の認定看護師を養成する。 感染防護具等について、感染拡大時を想定して必要数を備蓄 事業継続計画（BCP）にクラスター発生時の対応方針を定める。

5 施設・設備の最適化 ※国ガイドラインP13～P15

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<p>【施設・設備の適正管理と整備費の抑制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画期間中には建築後20年を経過し、改修・修繕費用の増大が危惧される。 電子カルテを令和9年度までに更新する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院施設について、計画的な改修工事・修繕を実施し、長寿命化を図る。 医療機器についても、定期的な点検と計画的な修繕を実施し、長寿命化を図る。 令和9年度の電子カルテ更新に向けて、令和6年度より検討を開始する。

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<p>【デジタル化への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口の待ち時間が長く、苦情が多い。 ランサムウェア対策のオフラインバックアップを令和5年度に導入済み 勤怠管理・会計事務に手作業が多く非効率的 	<ul style="list-style-type: none"> 患者の利便性向上のため、オンライン予約システムの導入を検討する。 拡 マイナンバーカードの保険証としての利用を促進するためホームページや院内掲示により利用促進を図る オフラインバックアップを確実に運用する。 新 オンライン処方箋の導入 新 職員の勤怠管理、病院会計の会計処理等についてデジタル化を推進する。

6 経営の効率化 ※国ガイドラインP15～P17

現状と課題	経営強化プランにおける取組み
<ul style="list-style-type: none"> 経営強化のため安定した患者数の確保が必要 リハビリ需要の増大に伴う施設・スタッフの不足 増加する回復期患者への対応が求められる。 在宅療養のニーズ増大に伴い支援体制の強化が求められる。 医療従事者不足のなか職員数の維持が困難となる。 勤務医の高齢化が進展している。 周辺病院・高齢者施設との連携強化 インバウンド増大に伴う外国人旅行者への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 拡 高次医療機関、開業医、高齢者施設からの紹介や救急依頼に対して、満床時以外は可能な限り受入れる。 拡 リハビリ入院目的患者の増加を図る。 拡 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）により高次病院への転送を減らし、看取り患者の増加を図る。 拡 スタッフ増員 拡 病床を機能訓練室に用途変更（病床削減） 拡 高次医療機関や高齢者施設との連携を強化し、円滑な入退院と地域包括ケア病床を最大限活用し利用率と回転率を向上 拡 訪問看護の強化 新 訪問診療の展開 拡 研修生・実習生の受入体制確立（特に看護師、助産師） 拡 大学、県への派遣の働きかけを強化する。 拡 周辺病院・高齢者施設へ定期訪問とミーティングを開催 新 外国人旅行者への対応体制を整備

※国ガイドラインP9関連

【地域医療構想に係る対応方針】

※国ガイドラインP5関連

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床等	合計
構想区域全体	R5年実績	883床	2253床	1059床	972床	96床	5263床
	R7年見込み	893床	2153床	1137床	863床	38床	5084床
	R7年必要量	588床	1691床	1502床	871床	0床	4652床
当該病院	R5年実績	0床	50床	55床	0床	0床	105床
	R7年意向	0床	42床	55床	0床	0床	97床
	R10年意向	0床	42床	55床	0床	0床	97床

【職員の状況】（100床当たり常勤職員数。R3年3月時点）

区分	当院	類似病院平均	全国平均
医師	9.5人	15.3人	9.3人
看護師	58.1人	77.6人	60.7人
准看護師	4.8人	0.9人	1.6人
医療技術職	24.8人	23.8人	24.8人
事務職員	15.2人	9.1人	9.8人
その他職員	1.9人	2.4人	3.2人

【医師の時間外・休日労働時間の状況（R4年度）】

区分	人数	主な診療科
自病院における時間外・休日労働時間が年1,860時間超の医師の有無	0人	
自病院における時間外・休日労働時間が年960時間超1,860時間以下の医師の有無	0人	
副業・兼業先も含めた時間外・休日労働時間が年1,860時間超の医師の有無	0人	
副業・兼業先も含めた時間外・休日労働時間が年960時間超1,860時間以下の医師の有無	0人	

【特例水準の申請・指定状況】（R5年4月時点）

区分	意向	進捗状況
連携B	無し	
B	無し	
C-1	無し	
C-2	無し	
指定要件に該当しても申請しない場合その理由		

※国ガイドラインP10関連

※国ガイドラインP10関連 8

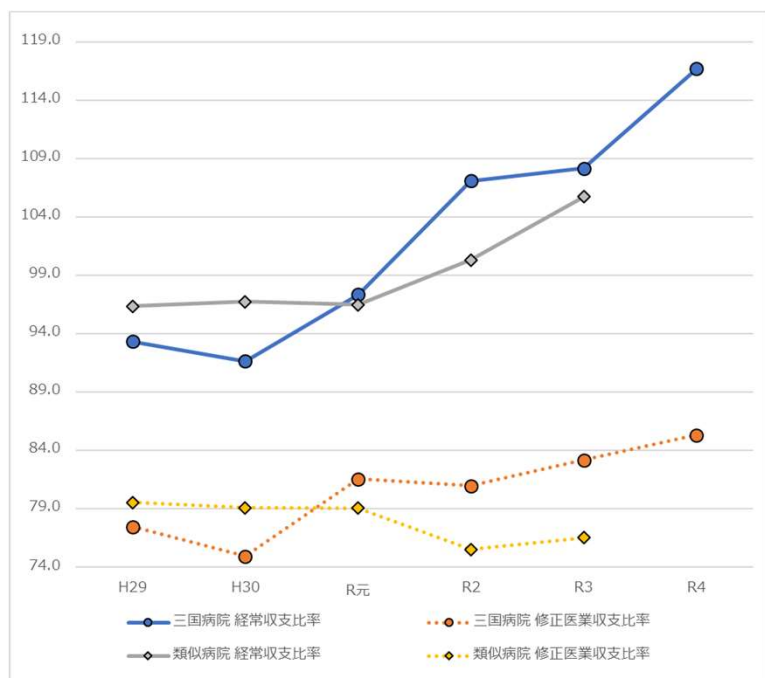
【経営の状況】

※国ガイドラインP15～P17 関連

(単位：%)

経常収支比率	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当該病院	91.6	97.3	107.1	108.2	116.8
類似病院平均	96.7	96.5	100.3	105.7	

修正医業収支比率	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当該病院	74.9	81.5	81.0	83.2	81.4
類似病院平均	79.1	79.1	75.5	76.5	



【施設・設備にかかる投資の見通し】

※国ガイドラインP13～P15 関連

(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
病院施設	5.2	32.6	18.0	12.0	37.5	44.3
新設・建替						
大規模改修	5.2	32.6	18.0	12.0	37.5	44.3
医療設備	7.0	22.3	6.0	2.5	2.5	255.5
合 計	12.2	54.9	24.0	14.5	40.0	299.8

【医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標】

※国ガイドラインP7、P8

	数値目標	R4決算	R5見込	R9目標値
1	入院患者数（1日平均）	70名	72名	89名
2	外来患者数（1日平均）	221名	265名	270名
3	透析登録者数（1日平均）	37名	38名	55名
4	通所リハビリテーション 利用数（1日平均）	9名	10名	15名
5	訪問看護基本療養費実績（月間）	R5開設	10回	100回
6	地域包括ケア病床利用率	61.7%	72.0%	90.0%

【経営の効率化等に係る数値目標】

※国ガイドラインP15～P17

	経営指標	R4決算	R5見込	R9目標値
1	病床利用率	69.1%	69.0%	85%
2	経常収支比率	116.8%	94.9%	100.4%
3	修正医業収支比率	81.4%	74.2%	89.5%
4	職員給与比率	67.8%	68.8%	65.7%
5	繰入比率	15.4%	17.9%	16.1%

【経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画】

※国ガイドラインP17

（単位：百万円）

区 分	コロナ前	R2 (決算)	R3 (決算)	R4 (決算)	R5 (見込)	計画期間			
	R1 (決算)					R6	R7	R8	R9
経常収益	2001.7	2294.9	2333.1	2596.0	2234.0	2390.0	2436.0	2469.0	2486.0
うち医業収益 (入院・外来等)	1636.4	1696.1	1762.9	1793.4	1745.0	1890.0	1910.0	1957.0	1997.0
うち病床確保料		81.6	139.9	419.7	23.8				
経常費用	2056.7	2143.4	2157.3	2223.1	2353.0	2386.0	2395.0	2443.0	2475.0
経常収支	▲ 55.0	151.5	175.8	372.9	▲ 119.0	4.0	41.0	26.0	11.0
病床確保料を除く 経常収支		69.9	35.9	▲ 46.8	▲ 142.8				